

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

令和 7 年度第 1 回

(令和 7 年 5 月 22 日)

令和7年度第1回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 令和7年5月22日(木)
開 会 午前10時00分 閉 会 午前11時00分
2. 場 所 南丹市役所 4号庁舎 2階会議室
3. 協議事項 別紙次第のとおり
4. 出席委員 村上委員長 芦刈副委員長
河方委員 廣瀬委員 中島委員 井尻委員 田邊委員
八木委員 坂本委員 荒川委員 橋本委員 坂本委員
5. 事 務 局 福祉保健部部長 川勝
社会福祉課課長 奥村
社会福祉課課長補佐 仲田
社会福祉課主査 林
つくし園施設長 大平
6. 傍聴人 0名

1. 開会あいさつ 委員長

今日は、スクリーンを見ていただきながら、行政やつくし園から丁寧にご報告がある。私たち民生委員は、支援が必要な方に寄り添いながら、各関係機関につなげるという大きな役割を果たしている。この16年間を振り返り、有意義な会議になるように、忌憚のないご意見やご質問をいただきたい。

2. 議事

・ 令和6年度発達支援相談事業実績報告

事務局より資料1を基に報告。

・ 令和6年度児童発達支援事業実績報告

事務局より資料2を基に報告。

・ 実績報告について質疑応答

A 委員：息子が去年からつくし園に通わせてもらっているが、発達が目覚ましく、1年ですごく変わった実感がある。バスの送迎もあり、仕事で送迎できないので助かっている。

B 委員：15年を過ぎたということで、本当に長い間就学前教育・保育を支えてきていただいた。園巡回では、1日でたくさんのお子どもをお世話になっていたが、スキルアップ研修などで職員の見る目もついてきて、早い段階から相談ができるようになり、1回の園巡回で本当に相談したい部分を明確に絞れるようになってきた。就学後のフォローがある安心感も感じられたので、そこを保護者の方にも広く勧めていただきたい。

議長：ありがとうございました。他にご質問、ご意見はありませんか。

⇒質疑なし

・ 令和7年度発達支援相談事業計画について

事務局より資料3を基に説明。

・ 令和7年度児童発達支援事業計画について

事務局より資料4を基に説明。

・ 事業計画についての質疑応答

C 委員：放課後等デイサービスで、子どもの課題を的確に教えていただきありがたいと思う。小学校の参観もしてくださり、密に連携してくれていると感じる。中学校への進学についても、一緒に考えてもらえる場所があることがすごく心の支えにもなっている。

D 委員：学校からの相談が、年々最近増えているということで、学校としても切れ目ない支援の実現をお世話になってる。移行期支援について、発達支援センターやつくし園とも、強く連携していけたらと思う。

E 委員：保護者の方のアンケートやご感想なども聞いて参考になった。支援者側の力量も大事なので、職員の研修等でしっかり力を付けていけるように、共にがんばっていかれたらと思う。

議長：発達支援相談事業及び児童発達支援相談事業実績報告及び事業計画について、承諾いただける方は挙手願います。

⇒全員挙手

承認されましたので、これで議事を終了します。

3. 閉会のあいさつ 副委員長

10年前の園部小学校の支援級は2つしかなかった、人数は9名。現在は、特別支援学級の方が42名、支援学級7クラスになっている。特別支援のニーズがすごく高まっていると実感している。

本日はR6年度の実績を聞き、就学前の段階から、手厚く保護者の方の色々な相談に乗っていただいている。園や学校と連携して、その子の特性のことについて協議し、この子にとって良い教育は何かを常に検討している。

30年前の1年生は、まず1年生で通常級に入ってそこから判断することが多かったが、今は1年生から特別支援級に入る。それは就学前の段階からきめ細やかに福祉と教育と連携しているからできている。それができなくて1年生から不登校になる子が何人もいたが、今は防げるようになってきた。

今日は報告を受けて、活動内容について新たな気付きがあった。学校の特に新しい先生はそこまで知らない。そういう先生方にも、センターで研修を受ける等、福祉とどのように連携しているのかを知ってもらいたい。

就学前健診や入学説明会などで、保護者に対して、福祉の目から見た子育てという説明をしていただけたらありがたいと感じた。本日は本当にいい機会をいただいて、ありがとうございました。